



プレスリリース

報道関係者各位

2022年3月11日  
Veeva Japan株式会社

## Veeva、2022 年度第 4 四半期および通年の業績を発表

～ 2022 年通年の総売上高は 18 億 5,080 万ドル、前年比 26%の増収  
第 4 四半期の総売上高は 4 億 8,550 万ドル、前年比 22%の増収

2022 年通年のサブスクリプション契約による売上高は 14 億 8,400 万ドル、前年比 26%の増収  
第 4 四半期のサブスクリプション契約による売上高は 3 億 9,570 万ドル、前年比 23%の増収 ～

ライフサイエンス業界に特化したクラウドソリューションにおけるグローバルリーディングプロバイダー、Veeva Systems【NYSE:VEEV】(本社：カリフォルニア州プレザントン、日本法人本社：東京都渋谷区、日本法人代表取締役：Sebastian Bather、以下 Veeva) は、2022 年 1 月 31 日を末日とする第 4 四半期および通年の業績を発表しました。(本リリースは、Veeva 米国本社が発表した報道資料の抄訳です。原文は[こちら](https://www.veeva.com/resources/veeva-announces-fourth-quarter-and-fiscal-year-2022-results/)からお読みいただけます。)

原文：<https://www.veeva.com/resources/veeva-announces-fourth-quarter-and-fiscal-year-2022-results/>

Veeva の Peter Gassner 最高経営責任者(CEO)は、次のように述べています。「私たちは 15 年前、ライフサイエンス業界に特化したインダストリークラウドを提供するという、明確なビジョンを掲げて Veeva を創設しました。このビジョンが実現し、当社がこの業界の最も戦略的なテクノロジーパートナーへと成長を遂げていることを喜ばしく思います。当社のお客様、そして Veeva チームのおかげで、当年度もお客様の成功とイノベーションを実現した素晴らしい年となりました。」

#### 2022 年度第 4 四半期業績:

- **売上高:** 第 4 四半期の総売上高は 4 億 8,550 万ドルで、前年同期の 3 億 9,680 万ドルから 22%の増収。第 4 四半期のサブスクリプション契約による売上高は 3 億 9,570 万ドルで、前年同期の 3 億 2,280 万ドルから 23%の増収となりました。
- **営業利益と Non-GAAP の営業利益<sup>(1)</sup>:** 第 4 四半期の営業利益は 1 億 1,970 万ドルで、前年同期の 9,880 万ドルから 21%の増益。第 4 四半期の Non-GAAP の営業利益は 1 億 8,630 万ドルで、前年同期の 1 億 5,320 万ドルから 22%の増益となりました。
- **純利益と Non-GAAP の純利益<sup>(1)</sup>:** 第 4 四半期の純利益は 9,710 万ドルで、前年同期の 1 億 290 万ドルから 6%の減益。第 4 四半期の Non-GAAP の純利益は 1 億 4,700 万ドルで、前年同期の 1 億 2,610 万ドルから 17%の増益となりました。
- **1 株当たり純利益と Non-GAAP の 1 株当たり純利益<sup>(1)</sup>:** 第 4 四半期の完全希薄化後 1 株当たり純利益は、前年同期の 0.64 ドルから 0.60 ドルとなりました。これに対し、Non-GAAP の完全希薄化後 1 株当たり純利益は、前年同期の 0.78 ドルから 0.90 ドルとなりました。

#### 2022 年度通年の業績:

- **売上高:** 2022 年 1 月 31 日を末日とする 2022 年度通年の総売上高は 18 億 5,080 万ドルで、前年の 14 億 6,510 万ドルから 26%の増収。2022 年度のサブスクリプション契約による売上高は 14 億 8,400 万ドルで、前年の 11 億 7,950 万ドルから 26%の増収となりました。
- **営業利益と Non-GAAP の営業利益<sup>(1)</sup>:** 2022 年度の営業利益は 5 億 550 万ドルで、前年の 3 億 7,780 万ドルから 34%の増益。2022 年度の Non-GAAP の営業利益は 7 億 5,870 万ドルで、前年の 5 億 8,280 万ドルから 30%の増益となりました。
- **純利益と Non-GAAP の純利益<sup>(1)</sup>:** 2022 年度の純利益は 4 億 2,740 万ドルで、前年の 3 億 8,000 万ドルから 12%の増益。2022 年度の Non-GAAP の純利益は 6 億 470 万ドルで、前年の 4 億 7,320 万ドルから 28%の増益となりました。
- **1 株当たり純利益と Non-GAAP の 1 株当たり純利益<sup>(1)</sup>:** 2022 年度の完全希薄化後 1 株当たり純利益は、前年の 2.36 ドルから 2.63 ドルとなりました。これに対し、Non-GAAP の完全希薄化後 1 株当たり純利益は、前年の 2.94 ドルから 3.73 ドルとなりました。

Veeva の Brent Bowman 最高財務責任者(CFO)は、次のように述べています。「当社の 2022 年度第 4 四半期および通年の好調な業績は、当社が引き続き卓越した実行力を発揮し、当業界で信頼できるパートナーとしての地位が拡大したことを反映しています。当社は、2023 年度も高い成長力と収益性を確保できる環境を整えており、当社の 2025 年度目標は前倒しで達成される見込みです。」

#### 最近のハイライト:

- **お客様の成功と製品の卓越性が業界でのリーダーシップを拡大** — 当年度の Veeva の顧客総数は 1,205 社で、前年度比で過去最高となる 212 社増を記録しました。Veeva Commercial ソリューションの顧客社数は過去最高の 81 社増を記録し 653 社へと増加、さらに Veeva R&D ソリューションの顧客社数も過去最高の 196 社増を記録し合計 860 社となりました<sup>(2)(3)</sup>。当年度のサブスクリプション契約による売上高維持率<sup>(4)</sup>は、既存顧客との継続的な取引拡大を反映し、119%でした。
- **臨床分野における主導的地位を確立** — ライフサイエンス業界では、Veeva の革新的な製品とデジタル臨床試験に関するビジョンへの注目度が一層高まっています。1 つ以上の Veeva Vault Clinical ソリューションを使用する顧客の数は現在 450 社を超え、前年度比過去最高となる 100 社増を記録しました<sup>(3)</sup>。製薬企業トップ 20 社のうち、16 社が Veeva Vault eTMF を使用し、7 社が Veeva Vault CTMS を使用し、さらに 2 社が Veeva Vault CDMS を使用するなど、Veeva の臨床ソリューションで標準化する企業が増え続けています<sup>(3)</sup>。
- **品質マネジメント分野での機会および製品ポートフォリオの拡充** — Veeva Vault Quality にとって、当年度は、ラボ情報管理(LIMS)の重要分野におけるイノベーションを含め、エンドツーエンドの品質マネジメントプロセスを先進化する重要な年となりました。当年度の新規顧客獲得数が過去最高となる 100 社を超えるなど、その力強い勢いを継続し、今や 200 社を超えるお客様が Veeva Vault QualityDocs と Veeva Vault QMS の両製品を導入しています<sup>(3)</sup>。
- **Veeva Link、強力なデータプラットフォームへ** — Veeva Link は当年度に、リアルタイムのカスタマーインテリジェンス製品の治療領域を 20 領域以上に拡大させました。Link の顧客社数は当年度に約 2 倍となり、製薬企業トップ 20 社のうち 4 社があらゆる治療領域にわたり Link を企業全体で採用し、情報に基づいてキーパーソンとの有益な対話を促進しています<sup>(3)</sup>。

## 財務見通し:

2023 年度第 1 四半期(2022 年 2 月～2022 年 4 月)の Veeva の財務見通しは、下記の通りです。

- ・総売上高は 4 億 9,400 万ドル～4 億 9,600 万ドル
- ・Non-GAAP の営業利益は 1 億 8,700 万ドル～1 億 8,900 万ドル<sup>(5)</sup>
- ・Non-GAAP の完全希薄化後 1 株当たり純利益は 0.91 ドル～0.92 ドル<sup>(5)</sup>

2023 年度通年(2022 年 2 月～2023 年 1 月)の Veeva の財務見通しは下記の通りです。

- ・総売上高は 21 億 6,000 万ドル～21 億 7,000 万ドル
- ・Non-GAAP の営業利益は約 8 億 2,500 万ドル<sup>(5)</sup>
- ・Non-GAAP の完全希薄化後 1 株当たり純利益は約 4.02 ドル<sup>(5)</sup>

- (1) 本プレスリリースでは Non-GAAP の財務指標を使用しており、これらの指標は様々な GAAP 項目の影響について調整されています。詳細につきましては、原文の「Non-GAAP Financial Measures」と題されたセクションおよび「Reconciliation of GAAP to Non-GAAP Financial Measures」と題された表をご参照ください。
- (2) 毎年 Commercial Solutions と R&D Solutions の顧客社数を合計すると、Veeva の総顧客社数を上回ってしまいます。これは、両分野の製品を契約されているお客様がいらっしゃるためです。Veeva Commercial Solutions は、当社のクラウドソフトウェア、データ、およびアナリティクス製品からなり、お客様の製品のより効率的かつ効果的なコマースリゼーションのために特別に設計されています。Veeva R&D Solutions は、当社のクリニカル、品質マネジメント、レギュラトリーおよび安全性情報管理の各分野の製品からなります。
- (3) 合計顧客社数は、当期中の顧客の解約件数を差し引いて表示されています。
- (4) 当社は、特定の会計年度のサブスクリプション契約による年間売上高維持率を計算するに当たり、(i) 前会計年度末日時点でも顧客であった顧客からの当該特定会計年度末日時点の年換算のサブスクリプション契約による売上高を (ii) 前会計年度末日時点の全顧客からのサブスクリプション契約による年換算の売上高で割っています。年換算のサブスクリプシ

オン契約による売上高は、年度末日に計上された1日のサブスクリプション契約による売上高に365をかけることによって計算されます。この計算には、顧客の契約非更新、追加ユーザーの展開またはユーザー数の減少、顧客による追加ソリューションの展開またはソリューションの使用中止、および当社ソリューションの価格変更などによる、売上高への影響が含まれています。

- (5) Veeva は現時点で2022年4月30日に終了する第1四半期および2023年1月31日に終了する年度の営業利益と完全希薄化後1株当たり純利益のGAAP目標を提示することができません。それはNon-GAAPの営業利益およびNon-GAAPの完全希薄化後1株当たり純利益に含まれない特定の項目を見積もることが難しいためです。特定項目費用の例としては株式ベースの報酬費用に関連する費用などが挙げられます。これらの除外項目の影響は重大である可能性があります。

### 【Veeva Systems 社について】

Veeva Systems 社はライフサイエンス企業向けにクラウドベースのソフトウェアを提供するグローバルリーディングカンパニーです。世界最大規模の製薬企業からバイオテクノロジー分野の新興企業まで1,100社を超える顧客に、技術革新への取り組みや卓越した製品力によって、お客様の成功にコミットする様々なサービスを提供しています。パブリック・ベネフィット・コーポレーション企業としてVeevaは、お客様や従業員、提携企業、株主、サービス提供業界を含むすべてのステークホルダーの利益バランスを保つことにコミットします。詳しくは、<https://veeva.com/jp>をご覧ください。

VeevaはWebサイト、<https://ir.veeva.com>を重要な非公開情報の開示、今後の投資家向け会議の発表、およびレギュレーションFDに基づく開示義務の遵守のために使用します。したがって、プレスリリース、SECの提出書類、および公開会議電話とウェブキャストに加えて、投資家向けウェブサイトに合わせてご確認ください。

## Forward-looking Statements

This release contains forward-looking statements regarding Veeva's expected future performance and, in particular, includes quotations of management and guidance provided as of March 2, 2022 about Veeva's expected future financial results. Estimating guidance accurately for future periods is difficult. It involves assumptions and internal estimates that may prove to be incorrect and is based on plans that may change. Hence, there is a significant risk that actual results could differ materially from the guidance we have provided in this release and we have no obligation to update such guidance. There are also numerous risks that have the potential to negatively impact our financial performance, including as a result of competitive factors, customer decisions and priorities, events that impact the life sciences industry, issues related to the security or performance of our products, the pandemic, issues that impact our ability to hire, retain and adequately compensate talented employees, and general macroeconomic and geo-political events (including impacts related to events in Ukraine). We have summarized on one page what we believe are the principal risks to our business in a section titled "Summary of Risk Factors" on page 39 in our filing on Form 10-Q for the period ended October 31, 2021, which you can find here. Additional details on the risks and uncertainties that may impact our business can be found in the same filing on Form 10-Q and in our subsequent SEC filings, which you can access at [sec.gov](https://sec.gov). We recommend that you familiarize yourself with these risks and uncertainties before making an investment decision.

【本件に関するお問い合わせ先】

Veeva Japan 株式会社

〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿1-19-19 恵比寿ビジネスタワー5階

TEL : 03-6721-9800 FAX : 03-3449-7800 E-mail : [japan.info@veeva.com](mailto:japan.info@veeva.com)